

伊深まちづくり協議会だより No3

伊深まちづくり協議会会長 佐野康雄
平成 24 年 3 月 31 日発行

文庫でよりみち～毎週火曜部は文庫が子どもの居場所

1～2月の寒い時期は、部屋の中での遊びが多くなりました。

学校から来て、宿題を終えたあと、今は、女の子たちが針仕事に夢中になっています。

上切の大矢さんが、子どもたちと一緒に、縫い物をしています。針使いも上手になって来て、この頃では、枕や、ポケット付き壁掛け、スカート作りなどに取り組んでいます。



また、下本郷の村井さんは、自作の紙芝居をしてくださったり、教師の経験を生かして、勉強なども見てくださっています。

村井さんや大矢さんのように、毎週火曜日、3時から5時まで、自治会館で、小学校の校庭で、幼い頃に帰って子どもたちと楽しい時間を過ごしませんか？一緒に遊んでくださる方を募集しています。

伊深小学校が「あじさい賞受賞」

市の教育委員会が、優れた活動をした児童、生徒や団体に贈る第5回「あじさい賞」を、伊深小児童会運営委員会が受賞しました。

『長年にわたり「子供祭り」で地域の方々に朗読発表をするなど地域とのふれあいを大切にした活動を行ってきたこと。特に23年度は「東日本大震災から学び考え生きる」という自作の詩の朗読を行い、地域に活力を与える活動となったこと』が評価されました。

チェーンソーを上手に使おう

～チェーンソー安全取扱講習会を開催して～

伊深と三和のまちづくり協議会では、地域住民に安全なチェーンソーの使い方を学び山仕事に生かしてもらおうと「チェーンソー安全取扱講習会」を、2月25日に、合同で開催しました。

講師は美濃市片知にある NPO 法人「杉の杜(そまのもり)学舎」の代表でこうした講習会の講師経験も豊富な鈴木章さん。

参加者は女性1名を含む22名で、伊深(3)、三和(6)の他は、市内各地から13名でした。

午前中は、伊深交流センターで、チェーンソー作業時の服装から、受け口・追い口を使った木の倒し方、更にチェーンソーの手入れ方法や目立てのポイントを学びました。

そして午後からは、大洞の現地へ移動し、チェーンソーを使った木の伐り方を実習したあと、けん引具を使った倒し方を順番に体験し、安全な作業の必要性を実感していました。



座学では特にチェーンソーの目立てに関心が集まり、理論的な説明に納得する参加者が多かった。

「安全な木の伐り方は、まず、『受け口』、『追い口』を作ることから」と、基本の大切さを説明する鈴木講師と熱心に見つめる参加者。





講師の指導を受けながら、「受け口」「追い口」にチャレンジする参加者。これにより、ほぼ思ったとおりの方向に倒せることを実感。

未経験者は実際にチェーンソーを手にとって丸太切りを体験。経験者も講師持参のチェーンソーの切れ味の良さにビックリ。目立ての大切さを再認識していた。



今回の参加者は経験者が約70%、未経験者が約30%でしたが、経験者からは「今まで『我流』でやっていたが、基本を教えてもらってよかった。」
「目立ての仕方のポイントが分かって参考になった」
「理屈を通した説明で分かりやすかった」＝未経験者＝などの感想が寄せられました。

こうした講習会は協議会として初の試みでしたが、実施後のアンケートでは『講師の教え方』について参加者全員が「良かった」
『講習会の難易度』では68%の方が「自分の力量と比べてちょうど良かった」
『運営の仕方』では86%の方が「良かった」と評価されるなど、有意義なイベントとなりました。

また、『今後参加したいテーマは?』の質問では、「間伐の仕方」「広葉樹林の手入れ方法」「炭焼き」「まきづくり」などが多く、山仕事について多様なニーズがあることが判りました。

協議会ではこの結果を踏まえ、次年度の活動に生かしていく予定です。

＝伊深を楽しく歩くために＝標柱づくりを計画

伊深には、正眼寺を始めとして、名刹、旧跡など、文化的・歴史的価値の高いものがたくさんあります。その中には、私たち、伊深に住むものも知らないようなところもあります。

そこで、まちづくり協議会では、伊深の名刹や旧跡、地域名などを示す標柱づくりを始めることにしました。

標柱にする木材は、大洞の山の間伐材で近くの製材で角材に引いてもらいました。これは、まだ、半年ほど乾燥します。

その間に、どの標柱をどこに建てるかを決めたりその場所の地主さんに了解をいただいたりします。

7月頃から標柱の防腐剤塗りと字書きなどの作業を進めます。

このような、手間と時間をかけた標柱づくりと一緒にして下さる人を大歓迎します。標柱づくりに参加しませんか。



写真は美濃市の標柱の事例です

町のトピックス

・全国綱引き大会

関也の長谷部雅彦さんが監督し、典子さんがメンバーの綱引きグループ「リトルオリーブ」が、3月4日に東京で行われた「全日本綱引き選手権」に出場され、ベスト16で、念願の決勝トーナメントに進出されました。

・卒業と入学

伊深小学校の23年度卒業生は12人で、24年度の入学生は12人です。保育園の卒園児は10人で、入園児は7人です。

・絵はがき

まちづくり協議会で製作した絵はがき「伊深の四季」は売れ行き好調です。

文庫（子どもの居場所）や、標柱づくりの詳細を知りたい方や、参加していただける方は、連絡所29-1395までご連絡下さい。お待ちしております。まちづくり協議会のメンバーも募集します。詳しくは連絡所まで。